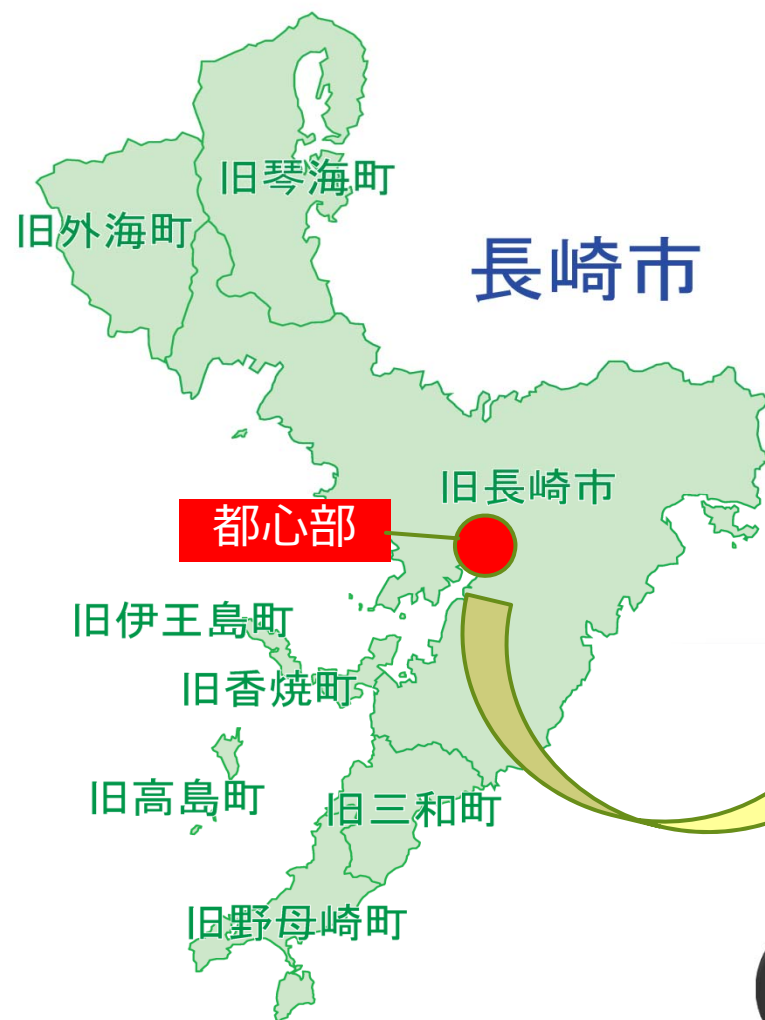


長崎市の路面電車について

1. 長崎市の位置



2. 長崎市の路面電車の運行区間



3. 長崎市のLRTに対する考え

長崎市の路面電車は・・・

人口が集中する区間を運行
沿線部に主要観光地が立地
安価な料金設定
交通渋滞の影響を受けにくい
etc



子どもから高齢者、障害者、
観光客など多くの人が路面電車を利用

今後、長崎市は・・・

人口減少に対応した
コンパクトなまちづくり



将来的にも拠点間のネットワークを
担う公共交通機関として重要



LRTを整備し、すべての利用者に優しい魅力ある路面電車に



長崎市
NAGASAKI CITY

4. 近年のLRT化の取り組み

低床車両の導入

- ・平成23年度までに3000形を3編成、5000形を2編成導入
- ・平成30年度に5000形1編成導入
(訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業)

H30年度導入車両



LED表示
多言語対応

4. 近年のLRT化の取り組み

電停のバリアフリー化

- ・ 歩道橋のみでアクセスしていた電停に横断歩道を設置し、平面アクセス化を実現

アクセスするには歩道橋のみ



横断歩道設置による平面アクセス化



バリアフリー化電停数 5/39 (13%)

4. 近年のLRT化の取り組み

交差点の軌道改良

- ・ 交差点部分の軌道敷内舗装の損傷が進んだ軌道を強固な接続ブロックに変更
(鉄道軌道安全輸送設備等整備事業)

改良前



改良後



4. 近年のLRT化の取り組み

電停名称変更

- ・沿線の観光施設等を電停名にすることで利便性を向上
- ・「〇〇前」「〇〇下」を施設名のみに変更することで最寄り施設を明確化

【変更例】

旧電停名称	新電停名称
松山町	平和公園
浜口町	原爆資料館
築町	新地中華街
賑橋	めがね橋
長崎大学前	長崎大学
大浦天主堂下	大浦天主堂

4. 近年のLRT化の取り組み

路面電車サイネージシステムの設置

- ・ 電車接近や遅延、自然災害などの異常時の運行情報をタイムリーに提供するサイネージシステムを平成31年3月に主要電停2か所に4基設置
- ・ 今年度、新たに6基設置予定
(訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業の採択に向け協議中)



5. LRT化の今後の取り組み

長崎市LRT整備計画(H30.3改定)に基づく整備

長崎市LRTプロジェクト推進協議会を開催し平成30年から平成34(令和4)年までのLRT整備計画を策定

【実施事業】

①超低床車両の導入

➡ 令和3年度に1編成導入予定

②電停のバリアフリー化

➡ 令和4年度までに3電停を整備目標

③交差点等の軌道改良

➡ 令和4年度までに4か所を整備目標

④センターポール化

➡ 令和4年度までに1区間を整備目標

⑤全国相互利用交通系
ICカードシステムの導入

➡ 来年度導入予定

5. LRT化の今後の取り組み

『nimoca』（全国相互利用交通系ICカード）導入

- ・観光客や地元住民の利便性の向上のため、現在の地域ICカードシステムの老朽化に伴う更新を機に、全国相互利用交通系ICカードを今年度導入予定（訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業）

全国相互利用交通系ICカード（10カード）



6. 利便性向上に係る取り組み

路面電車低床車運行情報等 提供サービス「ドコネ」の機能追加

国交省の「ユニバーサル社会
に対応した歩行者移動支援に
関する現地事業」の一環とし
て、平成23年度に導入

今年度追加機能(予定)

地方自治体の既存施策と連携し
た歩行空間ネットワークデータ
作成・活用に関する現地事業

- ① 電停から主要観光地までの
経路表示
- ② 観光施設、経路のバリア
フリー情報の表示



長崎駅整備後の二次交通へのアクセス



8. 中長期的な交通結節改善の検討開始

国, 県, 市, 交通事業者などによる検討会の設置 (R1. 8~)





ご清聴いただき、
有難うございました。